

CLTのさらなる普及について

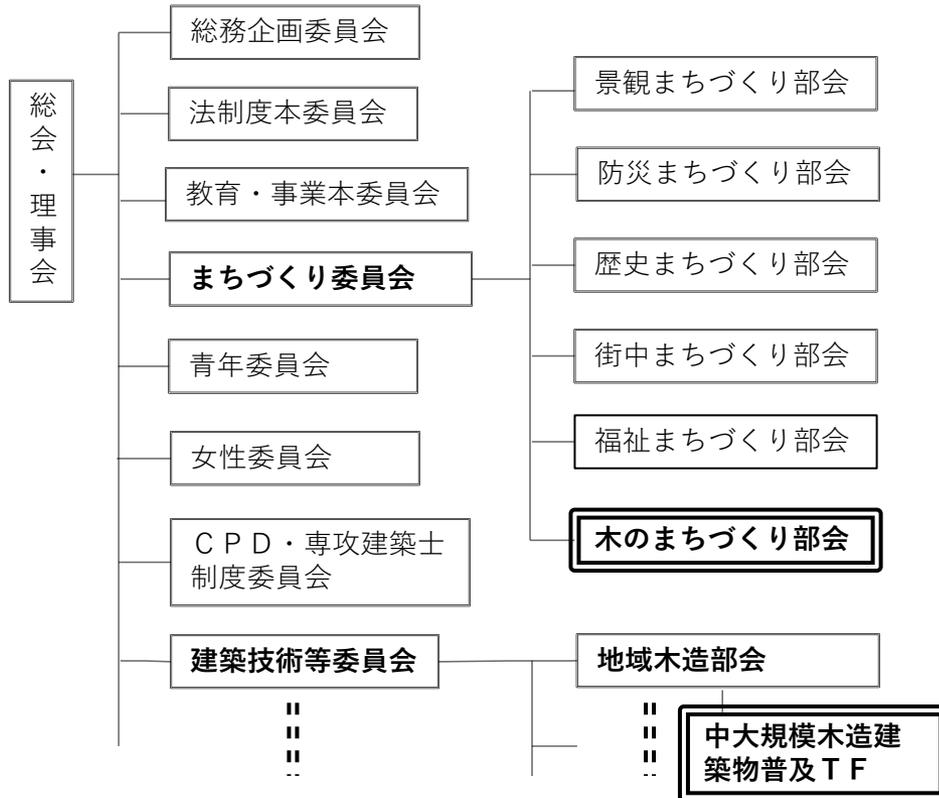
(公社) 日本建築士会連合会
名誉会長・木のまちづくり部会長

三井所 清典

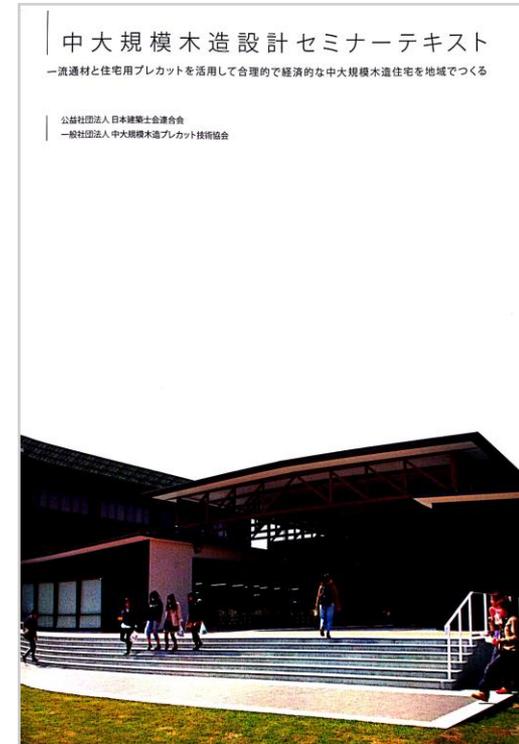


日本建築士会連合会の取組み（1）

木のまちづくり部会等を設置し、地域の建築の木造・木質化を推進するための活動を実施



中大規模木造設計セミナー等の展開



【平成27年度～令和元年度】
全国37建築士会でセミナーを開催
2,456名が受講



CLTのさらなる普及について（1）

CLTを用いた多様な建築への
チャレンジ
= CLTに関する高度な技術力を有する
設計者、施工者が主なプレイヤー



2019 環境大臣賞「CLT Web with Nature Drops」多孔質な空隙が多様な自然環境を纏う | 井上 桂輔 / 大浦 理路 / 中尾 寿利 / 差尾 孝裕 / 下西 智也 / 加登 美喜子 (株式会社設計)

出典：（一社）日本CLT協会
「CLTを活用したパビリオン建築ガイド」



CLTを用いた建築の多くは、
1、2階の低層建築物

■CLTを用いた建築物の階数別棟数



出典：CLTを用いた建築物一覧（R元.7.31現在）
内閣官房資料から集計

資料提供：（公財）日本住宅・木材技術センター



CLTを用いた普通の建築の普及
= 地域の建築士や施工者による取組みを推進

CLTの構造や構法的な特徴を
活かす中高層木造建築物の推進



CLTのさらなる普及について（2）

多くの建築士や施工者が比較的容易にCLTに取り組めるよう、
一定程度**標準化されたモデル的な建築物の開発とオープン化**

ex.) 【中低層建築物】

✓ **CLT構法**による標準化された**賃貸住宅**

✓ **木造軸組みとCLTのハイブリッド構法**による**木造校舎**

(参考) JIS A 3301 「木造校舎の構造設計標準」

- ・木造軸組工構法は、多くの建築士が慣れている
- ・軸組工構法のフレキシブルな空間構成が魅力で普及の可能性が高い
- ・軸組とCLTの併用は、RC構造や鉄骨造にCLTを組み込む動機付けとなる

【中高層建築物】

✓ **RC造又はS造とCLTのハイブリッド構法**による**事務所ビル**

一般的な構造計算手法である

許容応力度等計算（ルート2）の適用範囲の拡大

ex.) 現行3階まで ⇒ **6階程度まで適用可能に**



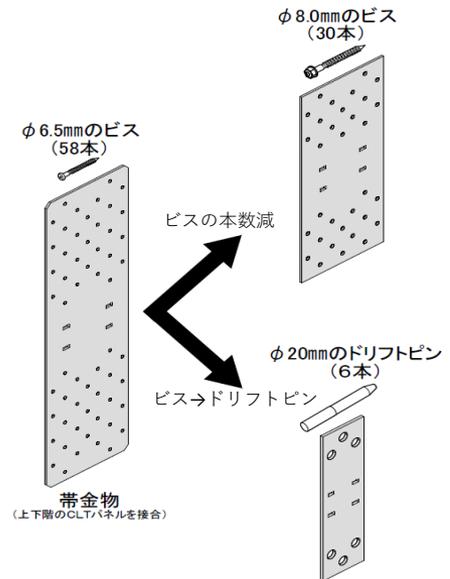
CLTのさらなる普及について（3）

改正建築基準法により防火地域・準防火地域以外の準耐火構造による4階建ての木造建築物の建築が可能となったこと等を受け、**CLT構法建築物に係る一般的な防耐火の仕様や施工方法の普及**

ex.) 解説書の作成、講習会の開催等

4階以上のCLT構法建築物向けの接合金物の開発と標準化

(参考) 現在は3階までの接合金物が規格化
4階用は「壁一壁」の帯金物のみ規格化



■施工性の高い高耐力金物の開発
資料提供：(公財)日本住宅・木材技術センター



CLTのさらなる普及について（４）

埼玉県木造公共施設推進協議会

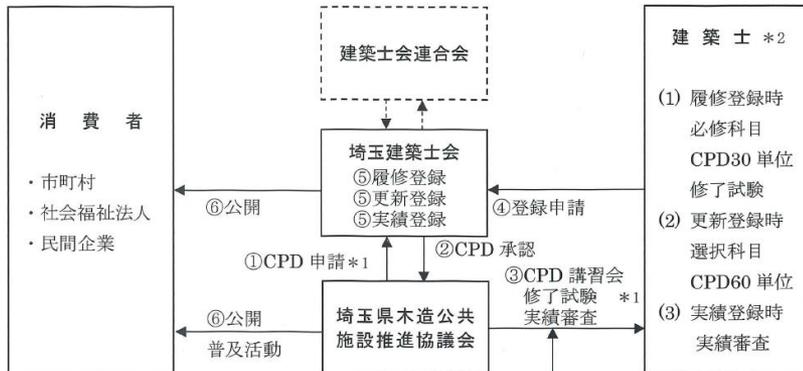
（平成28年4月設立）

（一社）埼玉県木材協会と（一社）埼玉建築士会の連携

■埼玉県中大規模木造建築技術者講習・登録制度

■建築士の資格を有する者

「建築士会継続能力開発（CPD）制度」とは「建築士法 第22条」に基づいて、「建築士会」が継続能力開発を行っている人の実績を確認して証明し、表示する自主制度です。



- *1 埼玉建築士会が担い手育成講習の内容を事前に監修します
- *2 一級建築士、二級建築士、木造建築士の方で所属団体は問いません
- *3 本講習の講師または同等の学識を有する方が講師を務めるCPD認定講習

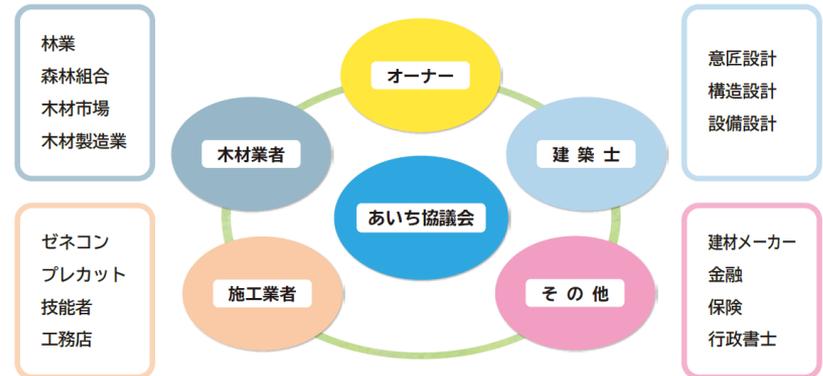
■建築士以外（木材生産者等）も講習・登録が可能

平成30年度～
履修者137人
〔うち建築士104人
建築士以外33人〕

環境都市実現のための 木造化・木質化推進あいち協議会

（令和2年2月設立）

（一社）愛知県木材組合連合会と（公社）愛知建築士会の連携



■中大規模木造建築技術者養成講座・登録制度

令和2年度養成講座（令和2年10月～令和3年2月 全18講座）

受講者の属性	人数	割合
設計事務所	37人	54%
木材関係	17人	25%
建材関係	2人	3%
施工会社	9人	13%
行政関連	3人	4%
合計	68人	100%

